

科目コード	121
科 目 名	助産学研究 I (Midwifery Research)
選択区分	必 修
単位数	1 単位
時間数	15時間
学 期	通 年
担当教員	小嶋 理恵子、今村 朋子、井上 明子
区 分	助産学探究領域
授業概要	助産師が日常、経験や慣習的に行っているケアの効果のエビデンスについて、文献から収集し、意図的に効果的な助産実践につなげるための研究的視点について学ぶ。また継続事例を行った援助を研究的視点で考察を深めるプロセスについて学ぶ。
授業目標	助産実践の諸現象を科学的に解明するための研究について理解を深め、研究の意義や基本的手法を学ぶ。

#### 授業内容

回	項 目	内 容	担当者
1	オリエンテーション	事例報告論文として、まとめたいテーマの焦点化 論文作成にあたっての説明	小嶋理恵子 今村朋子
2	自分が行った・行いたい援助の可視化①	対人援助とは？ 助産師の援助を可視化することの重要性	小嶋理恵子
3	自分が行った・行いたい援助の可視化②	「診断・ケアの根幹である助産観」「学生がとらえた継続事例像」、「継続事例・家族への適切な助言と対象の希望を叶えるケアの提供」	小嶋理恵子
4	事例報告論文までの道のり	事例報告論文発表に向けた、プレゼンテーション方法について卒業生から学ぶ	小嶋理恵子 今村朋子 教育協力者
5	事例報告論文計画書作成に向けて	継続事例に対して行った援助実践の結果を記述することの重要性	小嶋理恵子
6	発表にあたり、援助の焦点化を行うプロセス	対象との関わりの中で行った援助の焦点化を行うプロセス：文献から援助の知見を得ることで考察を深める	小嶋理恵子
7～8	中間発表	事例報告論文計画書の発表と検討	小嶋理恵子 今村朋子 井上明子
成 績 評 価 方 法	文献クリティックに関連した発表、論文計画書の発表内容をもとに総合的に評価する。		
教科書	特に使用せず。		
参考図書等	講義の中で適宜紹介していく。		
備 考			